THE ILC GAZETTE

横浜隼人高等学校 国際語科通信

Vol.7
2017・5・29

あーすフェスタかながわ２０１７にボランティア参加しました（５月２１日）　２００７年からＩＬＣ生徒がボランティアとして参加しているこの催しに、今年は**１０４名**も参加しました。受付や案内のような運営だけでなく、ＮＧＯの屋台で物販や食販も行い、会場いたるところでＩＬＣ生徒が活躍していました。

五月晴れ、というよりは真夏のような暑い一日でした！

ボランティア受付ボラ

会場受付ボラ

クイズラリー受付ボラ

アンケート回収ボラ

人力車体験も！

「世界の遊び場」ボラは毎年隼人生が大活躍！

スンカというゲーム

看板を持って広報！

ゴミの分別回収もお任せ！

ＮＧＯ**地球の木**の屋台ボランティア（チヂミ）

ＮＧＯ**シンチャオ**の販売では、アオザイを着て客寄せしました

朝鮮青年同盟の屋台もチヂミです

Junko Associationの物販お手伝い

フィナーレでは、チャンゴ（朝鮮の太鼓）をリズムに各国の民族衣装をまとった参加者が全員でロビーに出て来て踊り、興奮は最高潮に！生徒たちも一緒に踊りました。

グリーンカレー。美味しそう！

ボランティアが終わった後は、エスニック料理を食べたり、お祭りを楽しみました！　　一日お疲れ様でした！

（生徒の感想から）いろいろな物販があったが、その多くの店が「一部はその現地の人に寄付されるんですよ」というお店で、こんなにもボランティア団体があり、少し安心した。なかなか先進国と途上国との差が埋まらない気がするけれど、こんなにも文化が違う途上国を助けようとしている人々がいて、文化は違えど違うものを良いものとして受け入れていることがすごいことだと感じた。

〇〇〇〇
〇〇〇〇さん
（１年）

ティーンズフォーラム（あーすフェスタのイベント　ブラジル、中国、ネパールなど外国にルーツを持つ１０代の若者の交流会）にＩＬＣ生徒も参加しました！

（発表から）「実際に日本に来てみると、自分の分からない言葉の中で生活するのはとても難しく辛いことでした。また言葉が分からないことを理由に自分から話そうとしませんでした。でも学校の友だちが簡単なタイ語を勉強して私と話そうとしてくれました。今まで閉じていた自分の心がだんだんと開いていきました。そこで私が感じたことは『全ては自分の考え次第』ということです」

※「あーすフェスタ」は屋台、バザール、フォーラム、民族音楽、映画、体験型ワークショップなど世界各国の文化を通して多文化共生を考えるイベントで、２００１年から毎年開催されています。ＩＬＣとしては２００６年から参加しています。

ＴＯＥＩＣ協会から表彰を受けました！（５月２日）
ＩＬＣでは資格を利用して進学に結びつける生徒が多く、実用英語能力検定や漢字能力検定を受験する生徒が多いのですが、ＴＯＥＩＣを受験する生徒ももちろん多く、受験者数だけではなく８００点を超える生徒もいることから、この日ＴＯＥＩＣ協会が来校し、表彰を受けました。これからもＩＬＣ生徒にはいろいろなことに挑戦して欲しいと思います！